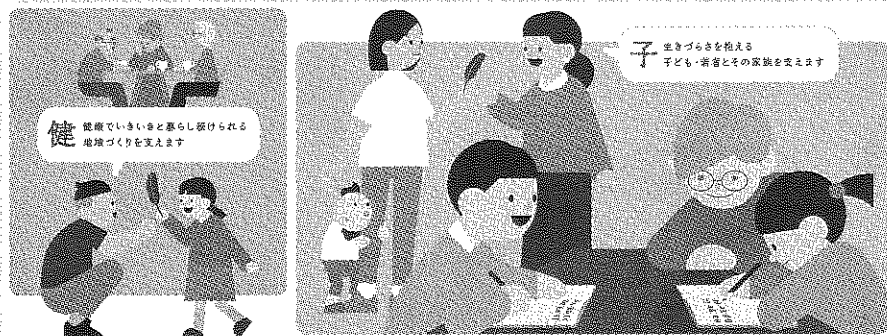
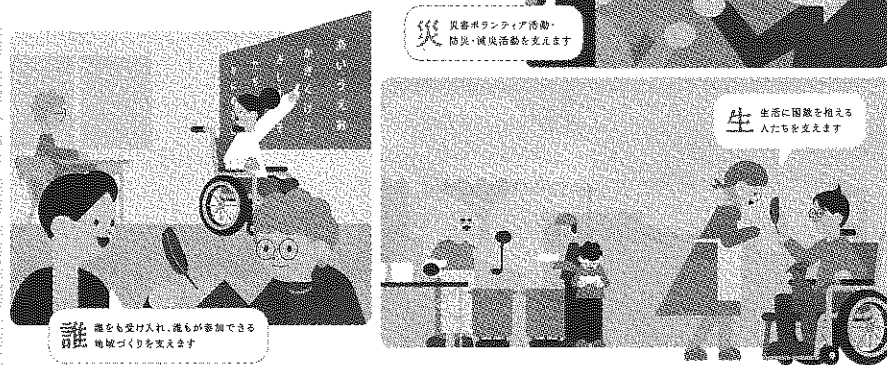


# あかん支所だより

KUSHIRO City - AKAN Town Social Community letter



## 支える人も 支える募金



じぶんの町に、困っている人がいる。その人たちが一番必要としているもの、それは人のチカラです。手をとって、支えてくれる人の存在です。では、その活動資金は、どうしましょう。赤い羽根共同募金は、困っている人を「支える人を支える募金」。それが、赤い羽根の役割なのです。

## 赤い羽根共同募金



令和6年度全国共通ポスター

## 10月1日赤い羽根共同募金運動が始まります。

地域のみなさまとともに歩んできた共同募金運動は、今年で78回目を迎えます。

少子高齢化社会の中で多様化する地域の困りごとの解決に向け、人々が相互のつながりを保ちながら安心して暮らすことのできる地域づくりを目指し、10月1日から募金活動をスタートします。

### 今号の目次

- 2p … 赤い羽根共同募金運動が始まります
- 3p … 第38回釧路市阿寒町ふれあい広場盛会に終了
- 4p … 第9回ふれあいスマホフォトコンテスト作品紹介
- 5p … 第8回阿寒地域福祉大運動会盛会に終了
- 6p … たすけあいの広場
- 7p … 阿寒地域住民福祉活動研修会のご案内  
ご近所ボランティア講座のご案内
- 8p … ボランティア情報局



「あかん支所だより」は、赤い羽根共同募金の一部助成を受けて発行しています。

# 赤い羽根共同募金運動が始まります!

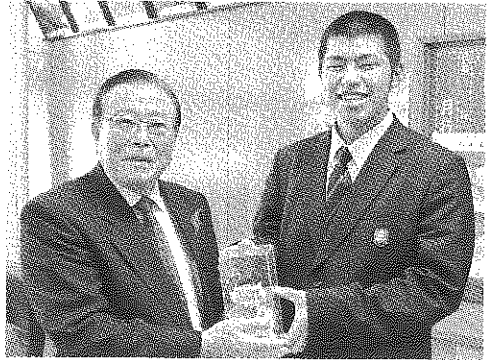
## 今年の阿寒地区の目標額

# 2,000,000円

10月1日から今年も赤い羽根共同募金運動が始まります。

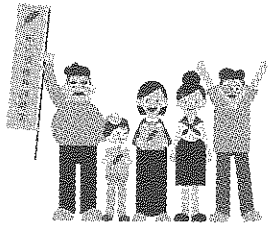
赤い羽根共同募金は「地域で様々な福祉活動を行うために最低限度必要な額」をもとに、あらかじめ使い道の計画を立てて募金を行っており、本年度も「阿寒のマチをよくするしくみ」として募金活動を展開していきます。

皆様の変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



### 街頭募金を実施します!

- 10月10日(木)・10時~12時  
阿寒観光汽船乗り場前(阿寒湖温泉)
- 10月13日(日)・11時~13時  
道の駅 阿寒丹頂の里・クレインズテラス前



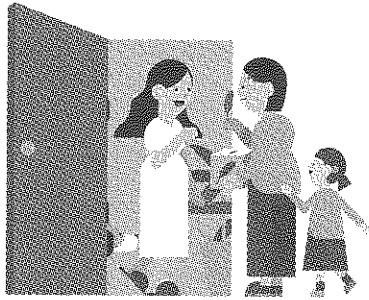
**戸別募金** 町内会を通じて、住民の皆様にご募金をお願いします。

**法人募金** 10月から町内の企業にご募金をお願いいたします。

**職域募金** 企業や団体等の職場にご募金をお願いいたします。

**学校募金** 11月に町内の学校にご募金資料を持って協力をお願いいたします。

**その他募金** 一例として、下記の寄付金付きグッズを取り扱っています。



## 最新の 寄付金付きグッズ 取り扱い中です!

初音ミク クリアファイル(全3種)  
1枚300円



Art by さごなみ © CFM



Art by めばえ © CFM



Art by 葉月幹 © CFM

初音ミク ピンバッジ  
1個500円



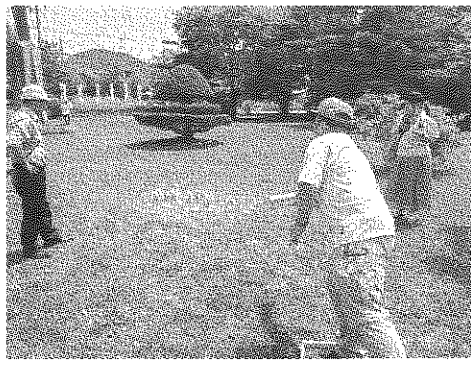
Art by さんご. © CFM

共同募金会では、クリアファイルやピンバッジ等の寄付金付きオリジナルグッズを作成しており、一定の金額以上の募金で進呈しています。グッズを通して気軽に募金活動に参加することができますので、ご協力をお願いいたします。いずれも数量限定ですので、ご希望の方は下記事務局までお問い合わせください。

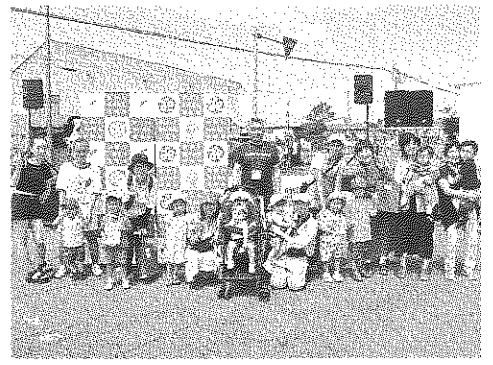
釧路市共同募金委員会阿寒地区委員会 (TEL 66-4200)



▲福祉団体製品展示即売会の様子



▲モルック体験の様子



▲ふれあいスマホフォトコンテスト表彰式

七月二十一日(日)阿寒町行政センター横特設会場において「第三十八回釧路市阿寒町ふれあい広場」を開催しました。本年度も昨年に引き続き、福祉施設の製品展示即売および福祉団体等による展示即売を実施し、ふるさとまつりの企画ブースとして参加しました。

当日は、三〇度を超える真夏日の予報で、事前に熱中症対策を行いながら開催いたしました。

会場の阿寒町行政センター前特設ステージでは、本年も「ふれあいスマホフォトコンテスト」の表彰式が行われ、曾我部委員長より賞状と記念品が手渡されました。

企画ブースでは、今年も足寄動物化石博物館にご協力いただき、昨年も大好評だった「クリスタル・化石のミニ発掘体験」を実施し、今年も子どもから大人まで汗をかきながら発掘体験を楽しんでいました。「ミニ発掘体験」の益金は社会福祉協議会の寄付金になります。

介護用品・福祉用具展示コーナーでは、ダスキンヘルスレント釧路ステーションのご協力による車いすの展示やトータルフーズ(株)釧路支店のご協力による介護食品のサンプルが来場者に配布されました。

また、今年も地域包括支援

## 赤い羽根共同募金助成事業

# 第38回釧路市阿寒町ふれあい広場盛會に終了!

## ソーシャルインクルージョンの普及

# ～すべての人が社会で共に暮らしていくことを目指して～

センター主催の電動車いすや電動歩行器の体験会やタブレット端末による物忘れチェックも行われ、多くの来場者が立ち寄っていました。

そのほか、「ふれあいスマホフォトコンテスト」応募作品の展示や、今年もフィナンランド発祥のスポーツ「モルック」の体験会も行われ、参加者はモルックの楽しさを肌で感じていました。

釧路市共同募金委員会阿寒地区委員会による『赤い羽根サポーター宣言』の募金コーナーでは、コンサドレー札幌やエスポラーダ北海道、初音ミクのクリアファイルを活用した募金活動のほか、今年も釧路市限定の寄付金付きバッジ「シマエナガバッジ」「タンチョウウババッジ」北海道限定の「ペンギン親子バッジ」「アザラシ親子バッジ」による募金活動も行われ、多くの方から共同募金運動へのご協力をいただきました。

今年のふれあい広場は猛暑に見舞われましたが、多くの方々にご参加いただきました。来年以降も地域の皆様と一緒に盛り上げていきたいと考えています。

ふれあい広場の開催にあたりご協力いただきましたボランティア関係者の皆様方、当日ご来場いただきました皆様方に心よりお礼申し上げます。



▲「赤い羽根サポーター宣言募金」の様子



▲介護用品・福祉用具展示コーナー



▲ミニ化石発掘に夢中

～第38回釧路市阿寒町ふれあい広場～

第9回「ふれあいスマホフォトコンテスト」入選作品のご紹介

すべての世代が笑顔で幸せに生きていける社会を願って「イチ推し! 私のお気に入り」「ずっとなかよしベストフレンド」「笑”撃! ○○な瞬間」の3部門で作品を募集し、応募総数26作品の中から、部門別に最優秀賞(1作品)、優秀賞(1作品)、佳作(1~2作品)の計11作品を選出いたしました。

見ている方も思わず笑顔になるような“たくさんの笑顔”をご応募いただき誠にありがとうございました。

「イチ推し! 私のお気に入り」部門



最優秀賞

「ほくと弟の宝物!」  
(釧路市 永田一晴さん)



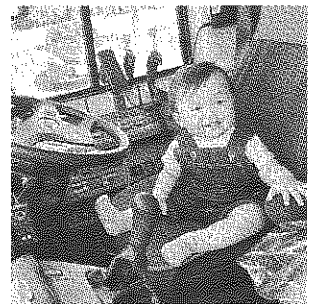
優秀賞

「ストライダーでレッツゴー!」  
(釧路市 加古花鈴さん)



佳作

「大好きなうさぎさんとはい  
チーズ☆(人●ω●)」  
(富士見 村山仁美さん)



佳作

「GOGO/バス!」  
(北町 小澤亮太さん)

「ずっとなかよしベストフレンド」部門



最優秀賞

「初めての手繋ぎ」  
(東栄 鈴木琉維さん)



優秀賞

「せいまとかいおう」  
(釧路町 藤田菜摘さん)



佳作

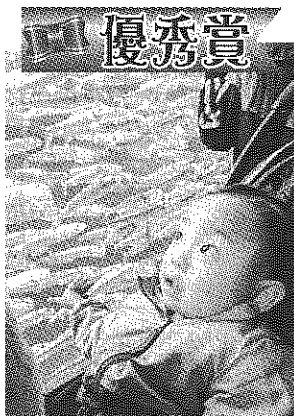
「オンロードで仲良くびよーん!」  
(釧路町 宮田若菜さん)

「“笑”撃! ○○な瞬間」部門



最優秀賞

「似たもの姉妹」  
(芽室町 金子瞳さん)



優秀賞

「さかな?さかな?さかな?」  
(徹別中央 佐藤眞智子さん)



佳作

「ハツツ……!」  
(釧路市 永田美佳さん)



佳作

「盗み食い!」  
(釧路町 宮田若菜さん)



**赤い羽根共同募金助成事業**

# 阿寒地域福祉大運動会盛会に終了

老人クラブ・福祉団体・町内会など、総勢120名が参加!

## 第八回阿寒地域福祉大運動会を開催しました

八月二十五日(日)、阿寒町スポーツセンターにおいて、地域住民が世代や障がいの壁を越え、健康と地域参加・交流を促進し、ソーシャルインクルージョンの普及啓発を目的とした「第八回阿寒地域福祉大運動会」を開催しました。

本年の福祉大運動会も、障がいの有無にかかわらず子どもからお年寄りまで誰でも一緒に楽しめるボッチャの『ボッチャ』と福祉大運動会の花形種目である『玉入れ』を復活し開催いたしました。

老人クラブ会員に加え、町内会やボランティア団体からの参加、身障会、難病会、育成会など阿寒地域の福祉団体、子育てサポートセンターすくすくの会



▲ 曾我部元親大会長(委員長) 開会挨拶

員、役員関係者などを合わせ、一二〇名が参加しました。今年のパリパラリンピックでも日本代表が好成績を収めた

『ボッチャ』競技ですが、阿寒町内の老人クラブや町内会の交流会でも盛り上がりを見せています。シンプルなルールながら、戦略性と大逆転の要素もあり、試合が最後までわからなかったため、参加者も熱気にあふれていました。地域の皆さんは『ボッチャ』を通して交流し、楽しい時間を過ごしていました。

また、ボッチャ競技終了後に行われた『玉入れ』も歓声が上がるなど大盛り上がりの運動会となりました

本年度も開催にあたり、阿寒農業協同組合より牛乳を、阿寒町内の郵便局より景品を提供いただきました。

また大会運営にあたり、NPO法人グルスの杜あかん、釧路市スポーツ協会阿寒支部、釧路市スポーツ推進委員協議会阿寒支部、阿寒町商工会青年部、阿寒町高齢者等生きがいセンター、阿寒地区民生委員児童委員協議会、阿寒町ボランティア連絡協議会、阿寒町行政センター保健福祉課、阿寒高校生徒の皆様にもご協力をいただき、盛会のうちに終了することができました。皆様方のご協力、誠にありがとうございました。

## 大会結果

- 優勝 仁々志別地区
- 準優勝 布伏内・徹別・阿寒湖地区
- 三位 橋北地区
- 四位 橋南地区



▲ 阿寒高校の生徒もボランティア協力



▲ 今年も美味しい牛乳で水分補給

# たすけあいの広場

社協は、行政や地域住民の皆様へ支えられ誰もが安心して暮らすことができる福祉の街づくりに取り組んでいます。福祉やボランティアなどについてのご質問などございましたらお気軽にお寄せ下さい。



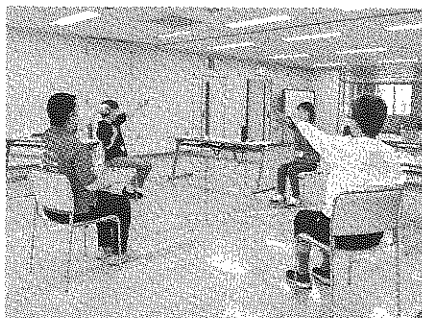
## 介護予防サポーター養成講座 修了しました！

八月二十七日（火）、約二ヶ月に渡る「釧路市介護予防サポーター養成講座」の修了式が行われました。

受講生は、五日間の講義や釧路市独自の介護予防プログラム「わかがりレッスン」の実技演習を受け、二日間のボランティア体験で介護予防の知識と地域活動への理解を深めました。

修了生は今後、介護予防サポーターとして、介護予防教室や町内のサークル等で「わかがりレッスン」等の指導を行う予定です。

地域の高齢化が進む中、介護予防の取り組みを推進することは非常に大切であり、その一翼を担う介護予防サポーターは地域にとって重要なボランティアです。引き続き、一人でも多くのボランティア仲間をお待ちしております。



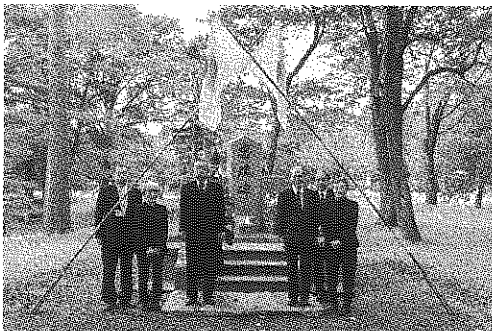
▲わかがりレッスンの実技の様子

## 阿寒町遺族会 阿寒地区戦没者慰霊祭 を執り行いました

八月二十九日（木）、阿寒町遺族会（児玉文登会長）および阿寒地区戦没者慰霊祭執行委員会（奥谷武雄委員長）が主催する阿寒地区戦没者慰霊祭が行われました。

当日は、阿寒神社の社務所にて祭祀を執り行い、終了後には、阿寒神社境内に設置された「忠魂碑」前に移動して九十柱の御英霊に哀悼の意を捧げました。

戦没者遺族並びに遺族会会員の高齢化に伴い、慰霊祭の準備等も会員のみでは困難な状況であることから、今年度より規模を縮小し、会員及び戦没者遺族のみの参列といたしました。参列者は戦争犠牲者の冥福を祈り、平和への誓いを新たにしました。



▲忠魂碑前での集合写真

## 中央町内会 健康づくり教室で ボッチャ体験しました

八月三十一日（土）、中央町内会の健康づくり教室が行われました。

当日は二十名の会員が参加し、介護予防サポーターによる「わかがりレッスン」でストレッチや口腔ケアを行い楽しく体をほぐした後「ボッチャ」で交流を深めました。

ボッチャはシンプルルールながらも「地上のカーリング」と呼ばれるほど、高度な戦略と技術を必要とする頭脳派のパラスポーツです。近年では、年齢や障がいの有無に関わらず、幅広い世代で親しまれています。今回初めてボッチャをするという方も多く、いざ試合が始まると一球ごとに歓声が高まり、会場は熱い盛り上がりを見せていました。



▲白熱する試合に大歓声

## 家族介護教室を 開催中です！

釧路市より社協で受託し実施している「家族介護教室」（全四回）を開催しています。

今年度第一回目の家族介護教室は、九月十一日（水）に阿寒湖まりむ館において開催し、泉町内会ひまわりの会の皆様を中心にご参加いただきました。

（株）マルベリーさわやかセンター 釧路 大平昂也氏（福祉用具専門員相談員）より「介護保険制度」の利用についての説明と「福祉用具レンタル・住宅改修」について説明いただきました。また説明後には、持っていた車いすや歩行器、歩行補助杖等を参加者が実際に触りながら個別に質問されました。

今後も地域の皆様の集まりにお邪魔し、家族介護教室を開催して参ります。



▲家族介護教室の様子

# 令和6年度 阿寒地域住民福祉活動研修会・福祉映画のつどい

あなたの大切な人が認知症になったら？

実話をもとに描く、優しさに満ちた希望と再生の物語。

## 映画「オレンジ・ランプ」上映会

今年度も阿寒地域住民福祉活動研修会『福祉映画のつどい』を阿寒地区連合町内会との協催にて開催いたします。

超高齢化社会で暮らす私たちにとって、認知症は誰もがなりえる社会問題となっています。本作では、39歳で若年性認知症と診断された夫とその妻の、実話に基づく笑いと涙の9年間の軌跡を描きます。この作品を通して認知症について正しく理解し、人と人が支え合う大切さを伝え、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりについて考えます。

参加希望者は10月10日(木)までに社協阿寒支所(TEL 66-4200 / FAX 66-4300)へお申し込み下さい。お申し込みの際は参加ご希望の会場をお知らせ願います。なお、定員になり次第、締め切らせていただきます。



- 令和6年10月19日(土)・10時開会  
阿寒町公民館・大ホール(定員100名)
- 令和6年10月20日(日)・10時開会  
阿寒湖まりむ館・まりも〜る(定員30名)

釧路市  
公認

## 阿寒地区 ご近所ボランティア講座

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるような地域づくりのためには、地域の中での支え合い・助け合いが必要です。この講座は、高齢者の困りごとに対する手助けや施設でのボランティア活動などについて学び、講座修了後には希望の活動先の紹介などを行う事業です。

- 【対象者】18歳以上の釧路市民で全3講受講できる方。  
また、講座修了後、釧路市公認ボランティアとして活動していただける方。
- 【定員】25名程度 ※定員になり次第締め切らせていただきます。
- 【会場】釧路市阿寒町保健・福祉サービス複合施設ひだまり検診室
- 【申込】11月1日(金)までに社協阿寒支所(TEL 66-4200)へお申し込み下さい。



第1講 11月8日(金)  
13時30分～16時・座学

ボランティア活動・地域福祉活動、ご近所ボランティアの活動紹介について等



第2講 11月15日(金)  
13時30分～16時・座学

高齢者の特徴、コミュニケーション・傾聴の仕方、車いす実技について等



第3講 11月20日(水)か  
27日(水)のどちらか午前中  
ボランティア体験

※日程は変更になる場合があります。



# ボランティア情報局

ボランティアセンター  
阿寒から配信!!

心温まる善意を  
ありがとうございます!

令和6年9月13日現在

◆皆様からお寄せいただいた預託金や物品は地域福祉の向上のために役立たせていただいております。

## ■寄付預託金

- 一金 40,000円  
阿寒町ふれあい広場実行委員会様  
第38回阿寒町ふれあい広場益金として
- 一金 3,130円  
阿寒陶好会様  
社会福祉事業に対するご寄付として

## ■物品預託

- 手話サークル白鳥会様 わたあめ機、ポップコーン機
- 中塚美代子様 タオル
- 荒木千枝子様 ウェス
- 鈴木 静江様 布団カバー、タオル
- 福祉楽歩クラブ様 ひら刷毛、ジグソーパズル、木製パズル、千代紙、ダブルクリップ

## 収集ボランティア情報

令和6年9月13日現在

◆多くの皆様からお寄せいただいた「収集ボランティア活動」をご紹介します。

### ■使用済み切手

- 88枚 匿名
- 4枚 匿名
- 417枚 阿寒の森鶴雅リゾート花ゆう香様
- 60枚 早川美紀子様

### ■ベルマーク

- 42枚 匿名
- 20枚 阿寒の森鶴雅リゾート花ゆう香様
- 107枚 早川美紀子様

慶弔のお返しにかえて、結婚・出産等を記念して、地域福祉の推進のために、皆様方のご厚情をお待ちしています。

## 収集時のお願い

切手は封筒からはがさずに、切手の周囲を1センチ程度残して切り取ってください。この時、切手のギザギザがないと価値がなくなりますので、切手のふちのギザギザを切ってしまうようご注意ください。



◆なお、上の写真のような料額印面や郵便料金証紙は収集・集計していませんのでご理解をお願いいたします。

## 機材の貸し出しを行っています

社協では、地域での福祉啓発や町内のボランティア活動、福祉教育等でご活用いただくことを目的に、機材を無料で貸し出しています。詳細はお気軽にお問い合わせください。

(機材の一例)

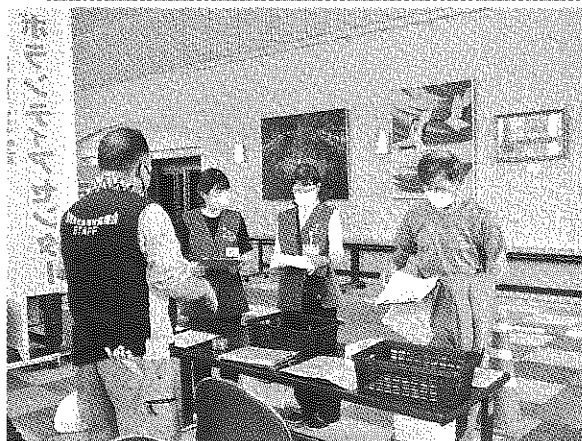
- ◆レスキューキッチンシステム  
災害時の炊き出しに活躍します。非常時だけでなく平常時から地域でご活用いただきたい機材です。
- ◆ポッチャセット  
町内会等の交流会を中心に町内で広く親しまれているパラスポーツです。福祉教育にもピッタリです。
- ◆モルックセット  
今年の8月に函館で世界大会が開催されたことで、注目を集める人気急上昇中のスポーツです。
- ◆わたあめ機・ポップコーン機  
地域のイベントや交流の場でお使いいただけます。

※使用にかかる消耗品の用意や運搬については、原則使用される方をお願いいたします。また、返却の際は原状回復して返却してください。

【お問い合わせ先】

釧路市社会福祉協議会阿寒支所 ☎66-4200

## 災害ボランティアセンター設置訓練を行いました!



8月22日(木)、釧路市阿寒町防災訓練にて「災害ボランティアセンター設置・運営訓練と炊き出し訓練」を実施しました。

災害ボランティアセンターとは、災害ボランティアの活動を円滑に進めるため被災地に設置される拠点のことです。被災地でボランティアが効率的に活動できるよう、ボランティア受付やマッチング、資機材の管理など多岐に渡る調整を行います。

今回の災害ボランティアセンター設置訓練では、紙の調査票と災害支援システム(インターネットクラウド)を使用し、実際に即した一連の訓練を実施しました。近年では、さまざまな自治体でこのようなICTが活用されており、迅速な情報共有や業務負担の軽減により被災地の復旧・復興支援に効果を発揮しています。